

平成25年度天皇杯受賞者受賞理由概要
林産部門

林業における女性の地位向上と男女共同参画の推進を牽引

○氏名又は名称 栗原 慶子

○所在地 埼玉県飯能市

○出品財 生活（生活改善）

○受賞理由

・地域の概要

飯能市は埼玉県の南西部に位置し、比較的温暖でスギ・ヒノキの育成に適しており、奥武蔵の豊かな自然に恵まれた市の西部は300年あまりの伝統を誇る西川林業地の「西川材」の生産地である。

「西川材」は長い伝統と林業者の強い愛林思想に支えられた丁寧な育林施業によって生まれ、首都圏を中心に埼玉県産の優良木材として供給されている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

氏は埼玉県初の女性林業グループ「東吾野林業婦人の会」（現東吾野女性林研「ときめ木」）において、結成時からの会員として学習活動や木工品製造販売等に取り組み、平成元年からは同会の会長となる。

平成9年には、県の林業女性会議「結木（ゆうき）の会」を発足させ代表となる。同年、全国林業研究グループ連絡協議会女性会議を結成し、初代会長となり、全国レベルでの女性林業者の組織化、林業における女性の地位向上、男女共同参画の推進に尽力した。

・受賞者の特色

（1）埼玉県初の女性林研グループ「東吾野林業婦人の会」での活動

昔は林家の女性であっても林業に従事することがない時代であったが、昭和59年に結成された「東吾野林業婦人の会」（現東吾野女性林研「ときめ木」）の結成とともに会員として育林技術の習得、木工品の製造販売等を中心となって取り組んだ。平成元年からは2代目会長として、まんじゅうやゆずジャムづくりなど地域の特産品づくりの指導を地域の子供たちに行うなど、女性グループとしても幅広い活動を行っている。

（2）県レベル、全国レベルでの女性会議の組織化

平成4年に全国林業研究グループ連絡協議会の初の女性理事に就任し、林業における女性の役割や能力発揮のための活動を行った。

平成9年に埼玉県において林業女性会議を立ち上げるため、自らが県内の各グループの女性に働きかけ、「結木の会」を結成し代表を務めた。

同じ平成9年、全国林業研究グループ連絡協議会に女性会議が組織化され、初代代表となり、各地域の実情に応じた林業女性グループの結成に尽力した。

（3）林業における男女共同参画の推進を牽引

平成7年から中央森林審議会委員、平成13年から林政審議会委員として、全国の林業女性代表として林業女性の活動など様々な提言を行い、林業界での女性の地位向上と男女共同参画の推進を牽引してきた。

・普及性と今後の発展方向

全国林業研究グループ連絡協議会女性会議の会長として女性組織の設立や女性リーダー養成の研修会などを手がけ、全国各地で林業女性の組織化がに貢献した。

また、林業女性の参画推進について働きかけ、以前は男性のみであった林業グループコンクール（活動発表）において、女性による発表の増加に寄与した。

このほか、NPO法人MORIMORIネットワーク理事として、都市と山村の協働による森づくり活動、地元大学と連携したセラピーランドづくりなどに、所有する森林をフィールドとして提供するなど、山村地域の活性化にも取り組んでいる。